

新しい電気通信サービス環境に応じた 消費者対応システムについて

2008年6月6日

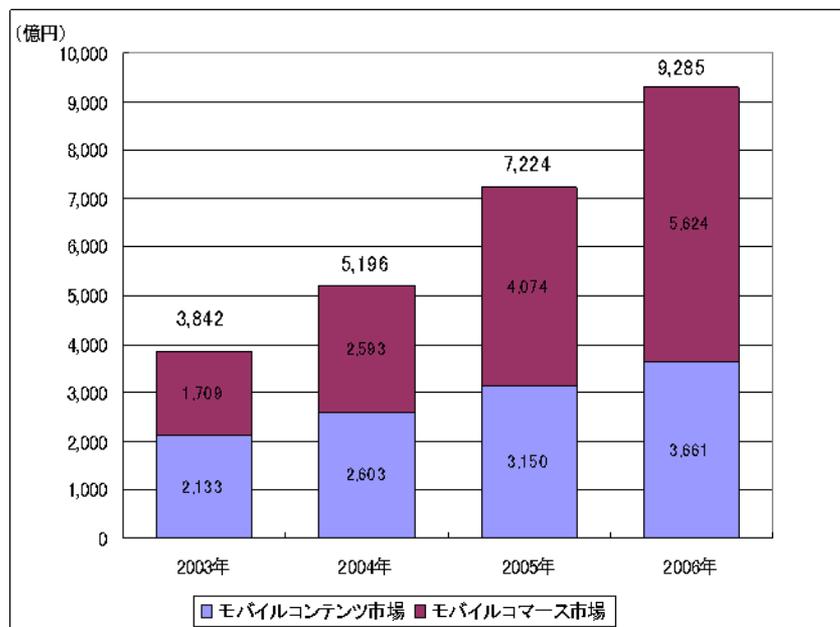


モバイル・コンテンツ・フォーラム

<http://www.mcf.to>

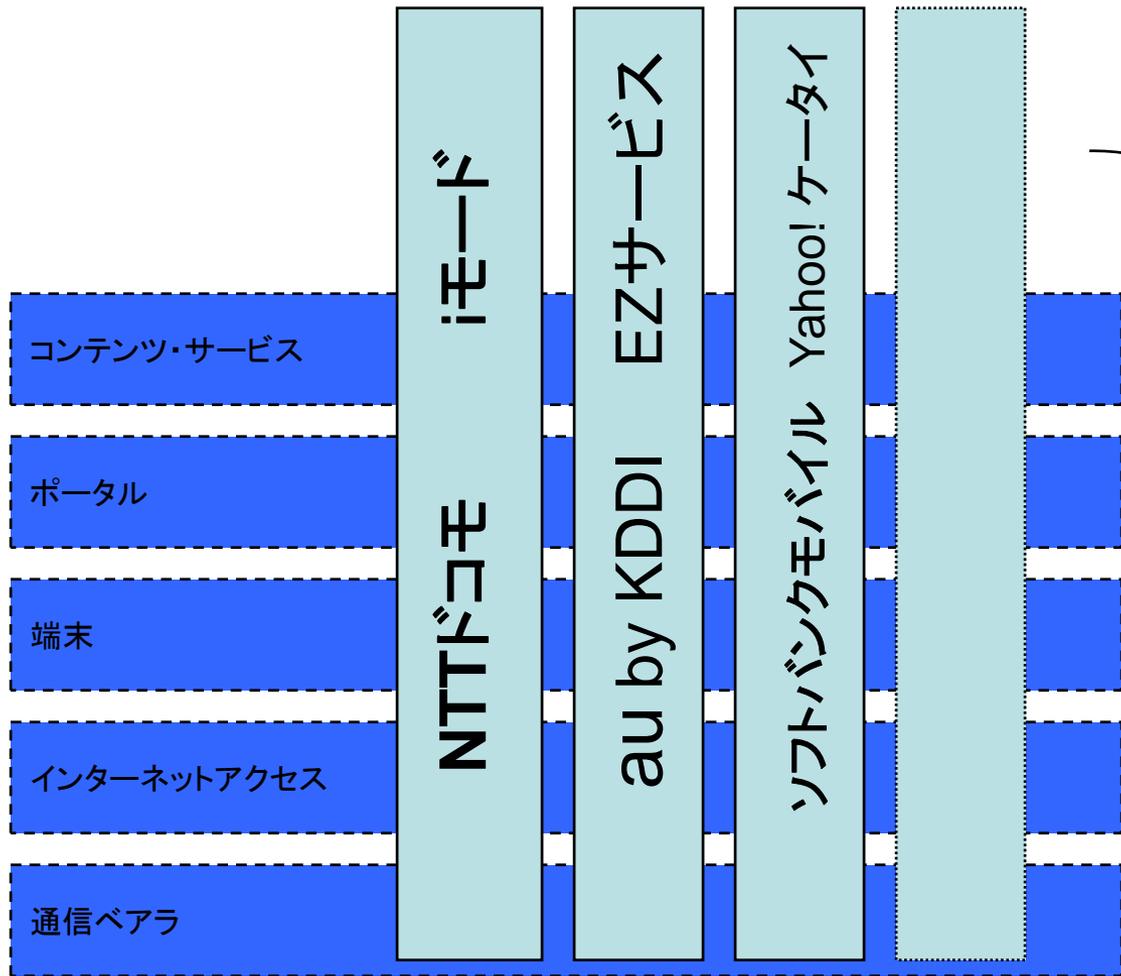
<http://www.mobilecontentforum.org>

モバイルコンテンツ関連市場の急激な拡大をもたらした



市場カテゴリー	2003年	2004年	2005年	対前年比	2006年	対前年比
モバイルコンテンツ市場	2,133	2,603	3,150	121%	3,661	116%
モバイルコマース市場	1,709	2,593	4,074	157%	5,624	138%
モバイルコンテンツ関連市場	3,842	5,196	7,224	139%	9,285	129%

垂直統合型のビジネスモデル



ブランド 垂直統合型の ビジネスモデル

- ・各レイヤーを最適化
- ・ユーザビリティの高いサービスを構築可能
- ・ビジネスモデルを早期に構築可能

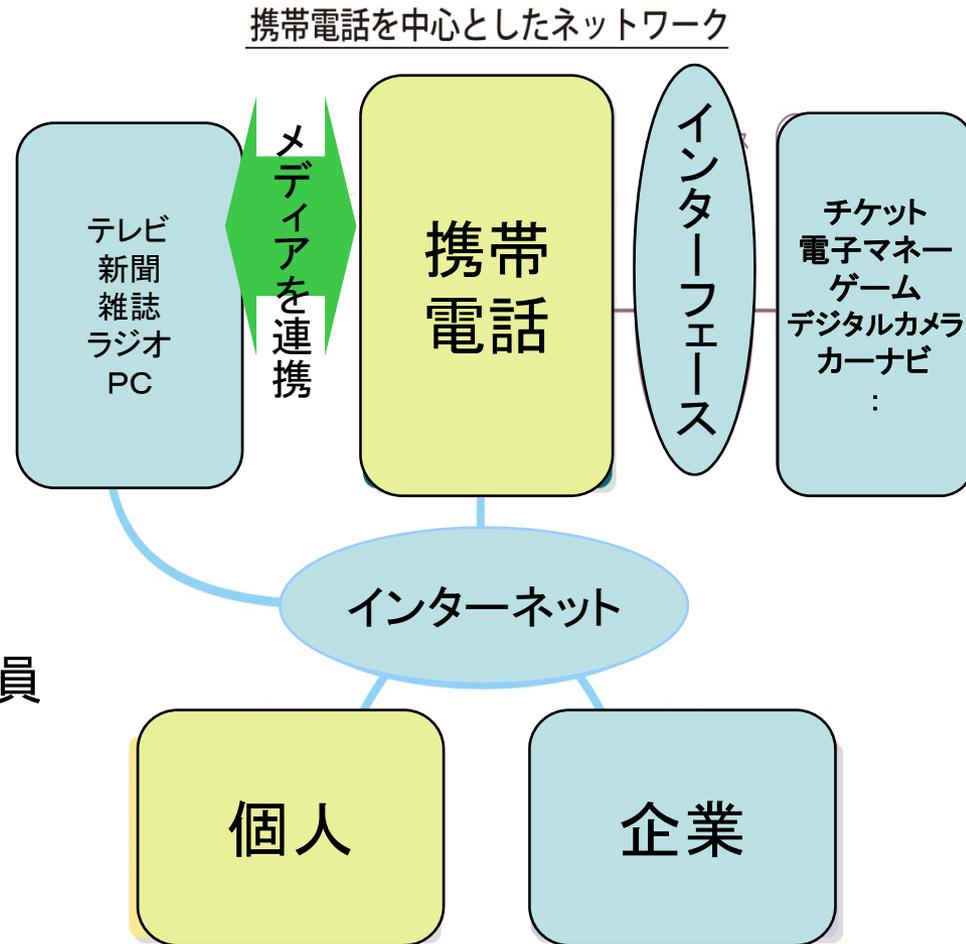
ユビキタス社会におけるモバイルの役割

●あらゆるメディアを連携するネット端末

●ポータブル&パーソナルの特性
では代替するメディアはない。

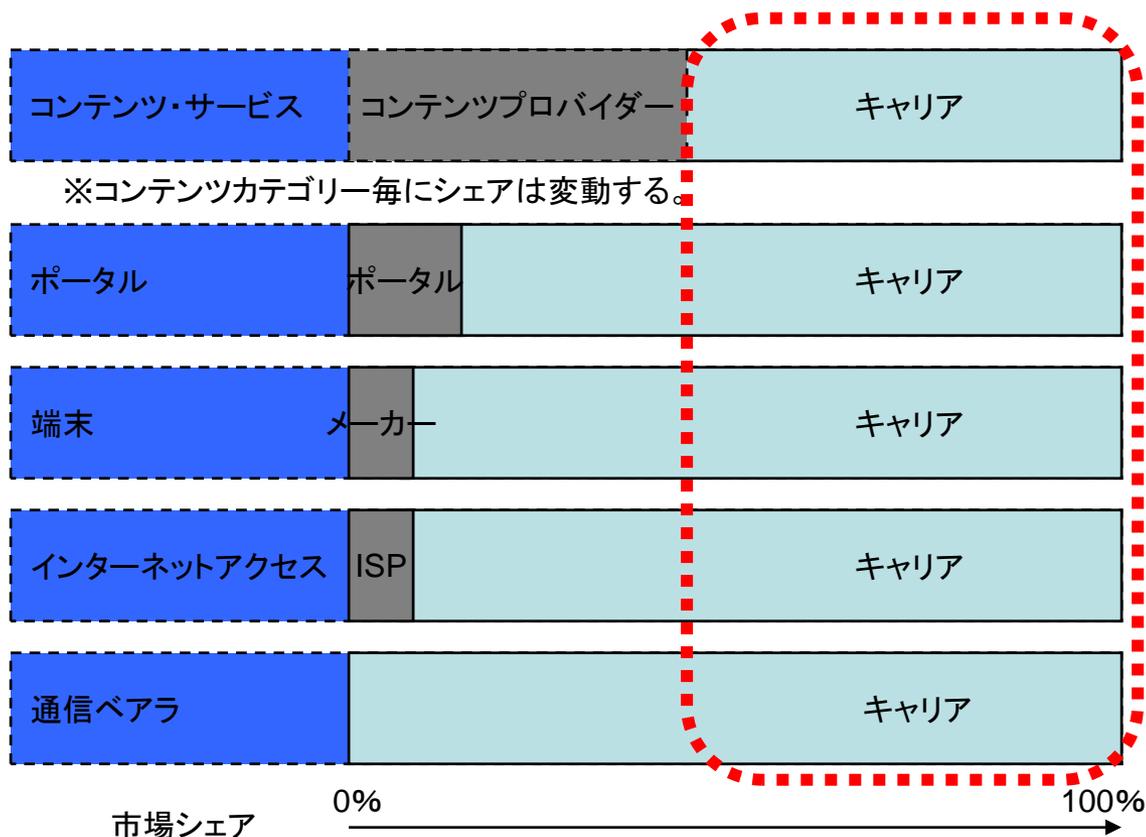
●携帯電話は
メディア&販売チャネルへ

●高齢者、若年者を含めた国民全員
が利用するユビキタス端末へ



電気通信サービスモデルの今後の方向性

日本のモバイルビジネスを拡大した垂直統合型モデルは認められるべきであるが、事業者間の公平な競争環境及びユーザーの選択可能性の拡大には、オープン型のモデルの拡大が必要



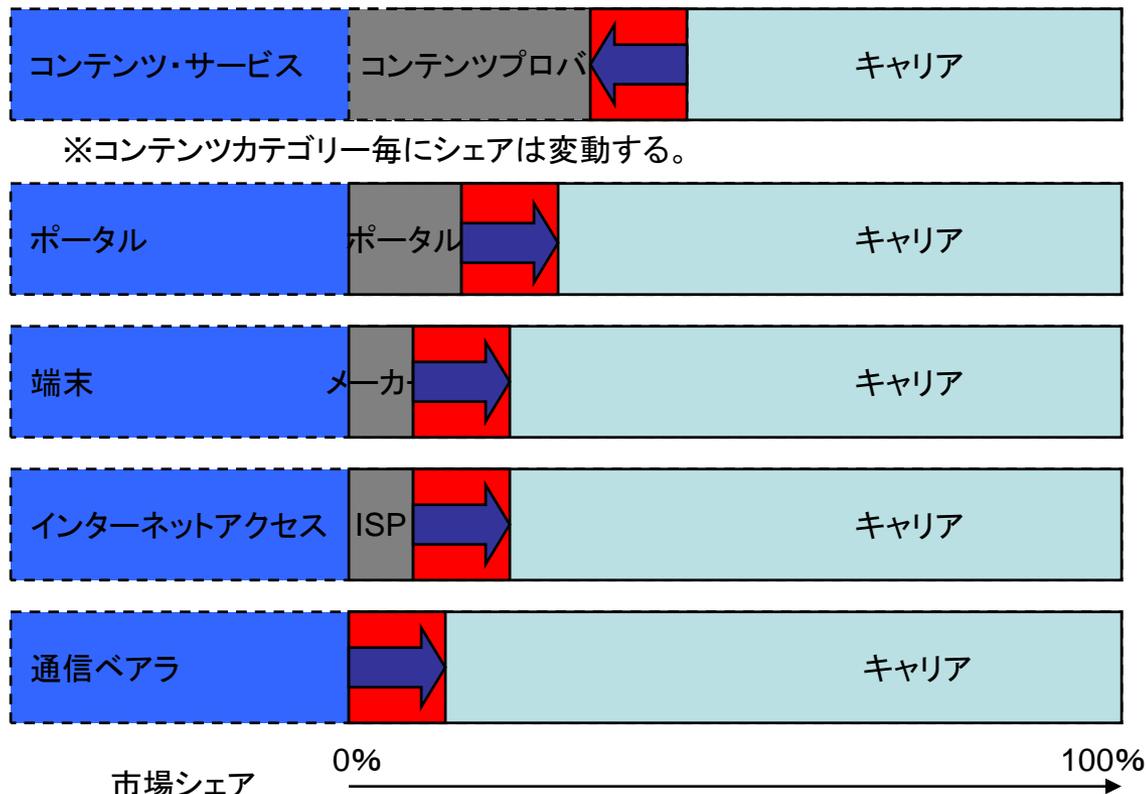
各レイヤーで事業者間の公平な競争環境が確保されるべき

ユーザーが事業者間の競争メリットを享受できるように選択ができる

電気通信サービスモデルの今後の方向性

- 垂直統合型モデルのコンテンツ・サービス分野への拡大
- オープン型モデルによる多様なプレイヤーの出現

■ 現状からの変動が予想される部分



垂直統合型モデルの拡大



複数のポータルを利用者が選択できる環境の出現。



メーカー端末の増大またはバンドルされるアプリや機能を利用者が選択できる環境の出現。



複数のISPから利用者が選択できる環境の出現。

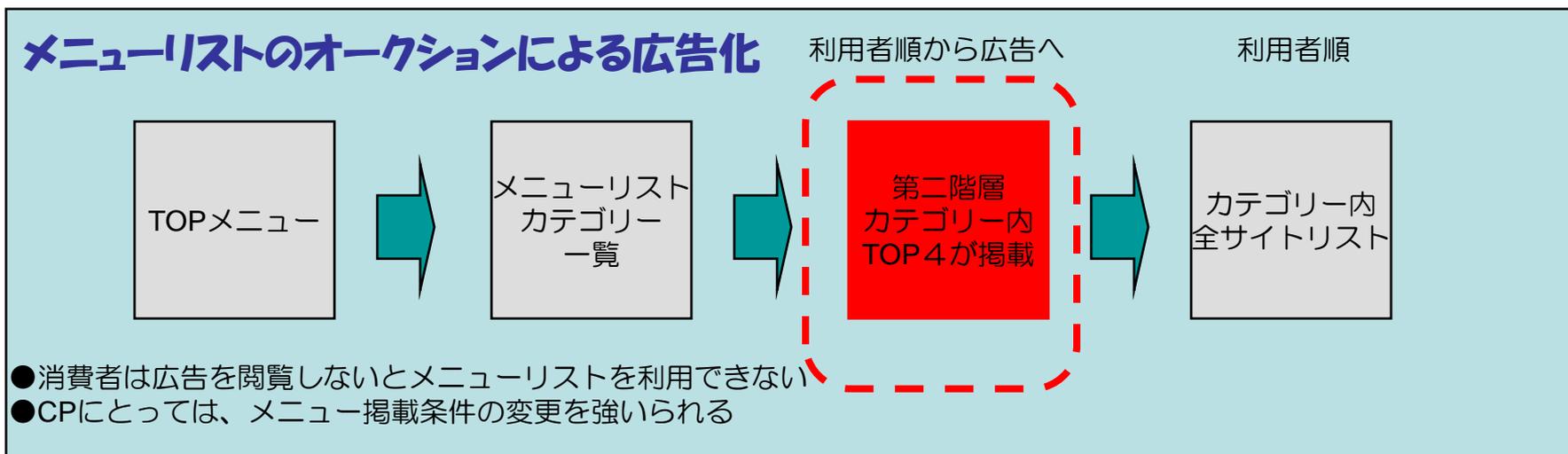


周波数の割り当てまたはMVNOの施策による新規通信事業者の増大。

垂直統合型モデル拡大において検討すべき事象例

◆参考事象例

- ・通信事業者の提供する広告・コンテンツビジネスを利用する場合は通信料金が無料。
- ・通信事業者のポータルのみコンテンツ料金の回収代行を行う。
- ・通信事業者の提供する広告サービスを閲覧しないとメニューリストが閲覧できない。
- ・通信サービスに特定のコンテンツサービスをバンドルして提供する。
- ・通信事業者及び子会社等をポータル利用において優遇する。
- ・通信事業者のポータルを利用者は選択できない。

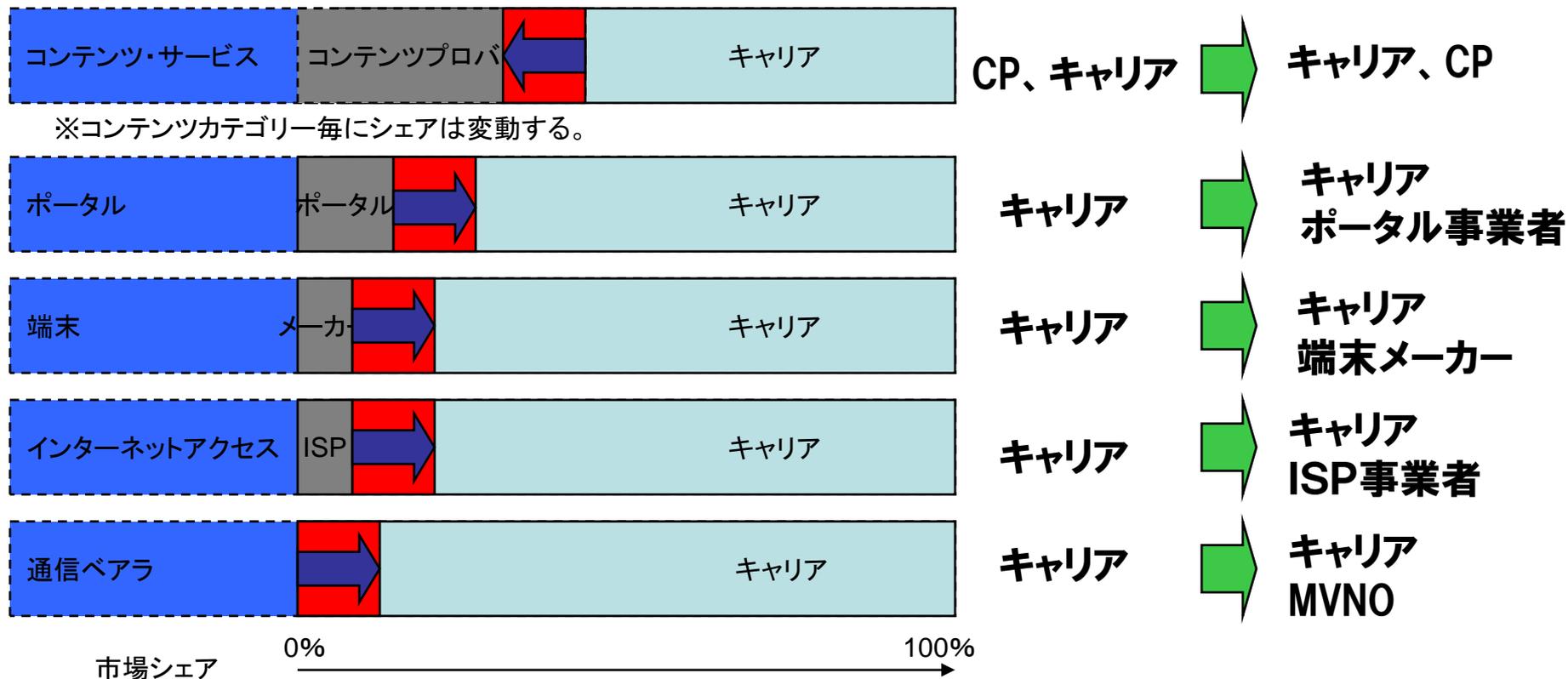


消費者利便も考慮した通信事業者とコンテンツプロバイダー間の調整機能が必要

電気通信サービスモデルの今後の方向性

オープン型モデルによって、多様なプレイヤーの対応窓口が出現する環境へ変化する

■ 予想される現状からの変動部分



- **消費者の利便性も考慮した電気通信サービス事業者間の紛争処理機能が必要。**

- **消費者対応窓口の拡大に対応して苦情・相談のための窓口間を各種内容にあわせてナビゲーションするシステムと窓口間で情報共有するためのシステムが必要。**
 - － 集中型と分散型